

共催：日本財団、東京都助産師会

助産師のための妊娠相談 SOS 学習会

定員：100名（先着順）

子どもの0か月、0日目の虐待死、赤ちゃんの長期にわたる施設養育といった問題を防ぐために、予期しない妊娠をした女性への妊娠期からの支援は非常に重要です。

様々な支援を受けることで、自分で育てる自信を持てるようになる女性もいれば、どうしても育てられない場合は特別養子縁組という選択で子どもを愛のある家庭に託す女性もいるでしょう。

今回の学習会では、半年で全国から1,500件の妊娠相談が寄せられたという「こうのとりのゆりかご」（通称：赤ちゃんポスト）がある熊本の慈恵病院の田尻由貴子さんをはじめ、妊娠相談の経験者の方々からお話しを伺い、助産師は電話口や産科病医院、保健所でどのようにケースワークをするとよいのかを学びます。

◆学習会プレゼンター◆

田尻由貴子（医療法人聖粒会慈恵病院元看護部長、現相談役）

秋山久美子（婦人保護施設 慈愛寮主任支援員）

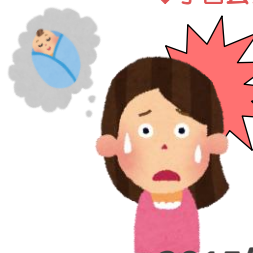
松岡典子（三重県助産師会会員、三重県『妊娠いっしょ！』受託団体 MC 林トセツ子みくみえ代表）

権田倫子（東京都助産師会常務理事）

赤尾さく美（日本財団特別養子縁組事業担当、一般社団法人ヘアホープ理事）



田尻由貴子



2015/

日時

2/14

13:00 - 17:00 (土)

(受付開始 12:30 から)

会場

東京都助産師会館 5階講堂

(文京区音羽 1-19-18)

参加費

助産師会会員 1,000円 (税込)

非会員 1,500円 (税込)

※学習会への参加は、事前登録が必要です。

以下、URL 先のフォームまたは、FAX (03-5981-3034) にてお申し込み下さい。

<https://www.jmat.jp/form/form.html>

※事前登録後、参加費を以下の郵便口座へ 2015年2月9日(月)までにお振り込み下さい。
(振込手数料はご負担願います)

【参加費振込先】郵便口座：00170-7-484988 加入者名：公益社団法人東京都助産師会

※学習会当日に参加費振込の領収書をご持参ください。

◆第一部 各現場の現状と課題について

- ・妊娠相談窓口から見える問題と助産師のビジョン～学習会開催に至った理由～
- ・全国からくる慈恵病院の妊娠相談 SOS の現状と課題（法整備、ネットワーク、財政的支援）
- ・三重県委託の妊娠相談窓口の現状と課題
- ・東京都助産師会の相談活動報告 無料電話相談

◆第二部 思いがけない妊娠をした女性への対応、制度、社会資源 ～ケース事例をもとに～

- ・「婦人保護施設を利用する事例」貧困、性産業従事、自立への支援
- ・事例：若年妊婦、DV 被害者の妊婦、特別養子縁組、自宅での墜落分娩
- ・「妊娠相談を受ける者の姿勢」
- ・課題の整理と今後への提言

本件に関するお問い合わせ

<一般> 【東京都助産師会】 電話：03-5981-3033 ※平日 10:00-16:00 のみ対応
FAX：03-5981-3034

<報道関係者> 【日本財団 ハッピーゆりかごプロジェクト】 電話：03-6229-5111 (担当：栗野)

